

2026年7月

JPFP会合：JPFP会合：UNFPA・IPPF活動報告及び要望書提出

国際人口問題議員懇談会（JPFP）は7月17日、会合を開催し、長年のパートナーである国連人口基金（UNFPA）及び国際家族計画連盟（IPPF）から、日本の支援による活動とその成果について報告を受けました。冒頭、上川陽子JPFP会長は、紛争や人道危機が長期化する中、人道支援にとどまらず、人々の生活の再建や自立を支える国際協力の重要性を指摘するとともに、官民連携や多様なパートナーシップを通じて、それぞれの強みを活かすことが支援の質や持続性を高める上で重要であると述べました。

UNFPAからは、タンザニアにおいて日本の補正予算を活用し、企業との連携によるブレンデッド・ファイナンスを通じて、生理用品の生産・販売・配布とシングルマザーの雇用創出、少女たちの教育機会の確保を組み合わせた取り組みが紹介されました。IPPFからは、アフガニスタンにおいて、妊婦健診、出産ケア、家族計画、栄養支援などを提供し、医療アクセスが限られた地域の住民の健康向上に貢献した取り組みが報告されました。

続いて、UNFPA及びIPPFからJPFP議員に対し、人口・SRHR分野における日本の国際協力の継続・強化を求める要望書が提出されました。会合では、日本が果たすべき役割や、複数分野・機関の連携による今後の国際協力のあり方について意見交換が行われました。



JPFP生命の安全教育PT会合開催

7月8日、JPFPは、生命（いのち）の安全教育プロジェクトチーム（PT）会合を開催しました。講師として登壇した、カレッジまどか（静岡県）学長の國分聡子氏は、性教育とは単に性に関する正しい知識を教えるだけではなく、衣食住や衛生習慣、自分や他者の身体を尊重すること、多様な身体的特徴を持つ人々への理解など、「生きる力」や思いやりを育む教育の延長線上にあると講演しました。



AFPPD若者への投資常任委員会会議：包摂的成長に向けた若者のエンパワーメント

6月4～5日、アジア人口・開発協会（APDA; JPFP事務局）及び人口と開発に関するアジア議員フォーラム（AFPPD）は、ラオス国民議会との共催により、AFPPD若者への投資常任委員会会議「包摂的成長に向けた若者のエンパワーメント」をラオス・ビエンチャンで開催しました。委員会メンバー国会議員を中心に、政府関係者、UNFPA、PFHA（IPPF加盟協会）Y-PEERをはじめとする協力団体など、10か国から60名を超える参加者が参集しました

[詳しくはこちら](#)



JPFP

国際人口問題議員懇談会（JPFP）は、1974年に設立された世界で最も長い歴史を持つ人口・開発問題に関する超党派議連です。JPFPは、APDAと一体となって、人口・開発に関する議員ネットワークを作り、多様な知見や経験を共有し、具体的な成果につなげてきました。

詳しくはこちら

APDA

公益財団法人アジア人口・開発協会（APDA）は、1982年の設立以来、JPFPの事務局を務めています。

詳しくはこちら

本ニュースレターは、国際家族計画連盟（IPPF）並びに賛助会員の方々のご支援を受けて発行しています。

JPFPご入会を希望される場合は、apda@apda.jpまでご連絡下さいますようお願い申し上げます。



♥ 寄附・賛助金のお願い

APDAは「紺綬褒章」の公益団体に認定されています。紺綬褒章は、認定された公益法人等に公益のために私財を寄附された個人や法人に授与されます。

DONATE NOW

国際人口問題議員懇談会（JPFP）事務局
公益財団法人アジア人口・開発協会（APDA）

〒105-0003東京都港区西新橋2-19-5-8F

TEL: 03-5405-8844 FAX: 03-5405-8845

E-mail: apda@apda.jp Website: <https://www.apda.jp/>

【編集責任：APDA】